

## 日本スポーツマスターズ 2026 監督者会議説明資料（補足）

今大会は、公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り行います。

一般社団法人日本マスターズ水泳協会競泳競技規則とは相違点がありますので、下記の点についてご確認・ご注意ください。

### ■ 登録について

- ① 日本マスターズ水泳協会の競技者登録者は、競技会終了後、自動的に記録を公認します。  
未登録者の記録は、マスターズ世界記録・日本記録であっても認められません。ただし、大会記録は認められます。
- ② リレー競技は公認にはなりません。（各都道府県を代表しているため）
- ③ 世界記録・日本記録を樹立者は生年月日証明書類が必要となります。世界記録はパスポートまたは住民票、日本記録は運転免許証またはマイナンバーカードのコピーでも構いません。競技終了後、リゾリューションデスクへ提出してください。すでに他の競技会で提出されたことのある選手は必要ありません。

### ■ 規則の違いについて

- ① WORLD AQUATICS 承認の水着を着用しなければなりません。
- ② WORLD AQUATICS のマスターズ規則では、スタートは台下・台上・水中の 3 つの方法からのスタートが認められていますが、これはマスターズ規則であるため、今大会では台上から行わなければなりません。台下・水中からスタートする場合は申請が必要です。必ず出場申告用紙にてリゾリューションデスクへ申請してください。
- ③ バタフライの規則は、WORLD AQUATICS マスターズ規則で 1 ストロークに 1 回の平泳ぎの足の蹴りが認められています。今大会は、マスターズ規則は適用されませんので、平泳ぎの足の蹴りを行うと違反となります。
- ④ WORLD AQUATICS マスターズ規則では、ロゴ規定は設けられていませんが、今大会はロゴ規定があります。
  - A. アリーナ・ミズノなどの大きな商標（ロゴ）のついたバッグ・袋などをアリーナ内に持ち込むことはできません。
  - B. ウェアや水着、キャップなどにプリントされている所属名は出場している都道府県名でなければなりません。マスターズのチーム名などがプリントされているものを使用することはできませんのでご注意ください。着用して出場した場合はオープン参加となります。
  - C. キャップを重ねての 2 枚かぶり、下に被っているキャップが違う所属・チームなどは認められません。今回は都道府県を代表しているため、マスターズのチーム名や違う都道府県のキャップなどかぶることのないよう十分注意してください。

### ■ 申請が必要な方

- ① ケガによって必要な場合、手・足の指の 1 本または 2 本をテーピングすることができますが、申請が必要です。ただし、テーピングテープに限りますのでご注意ください。当日、レース時のテープを巻いた状態で審判長へ確認が必要となります。リゾリューションデスクへ申請してください。
- ② 障がいをお持ちの方で、泳法違反を回避されたい選手、台下・水中からスタートを希望される選手、スタート席まで介助が必要な選手は、事前に申請が必要です。申請いただいても認められない場合もありますので、リゾリューションデスクへお問い合わせください。救済措置に該当されない方の申請は必要ありません。すでに申請のうえ認められていれば申請の必要はありません。